

番組「ニュース女子」の「沖縄基地反対運動特集」に関する当社見解

2017年1月2日及び9日に放送しました番組「ニュース女子」の「沖縄基地反対運動特集」（以下「本番組」といいます。）については、放送直後より多くの皆様から様々なご意見、ご批判を頂きました。本番組は、当社が制作した番組ではなく、他社が制作した番組を当社で放送する、いわゆる「持ち込み番組」に該当しますが、当社で放送する以上、放送法や放送基準等に従った内容であるか否かを当社が確認しなければなりません。当社では、放送前に本番組を視聴し、内容の確認（考査）を行いました。その際に問題ないと判断し、そのまま放送しました。

しかしながら、本番組については、昨年12月にBPO放送倫理検証委員会より「重大な放送倫理違反がある」との委員会決定（意見）を受け、本年3月にはBPO放送人権委員会より「人権侵害があった」との委員会決定（勧告）を受けました。

当社は、上記BPOの各委員会決定を真摯に受け止め、各委員会に対し、委員会決定後の当社の放送対応、意見、再発防止策などを報告しました。（詳細は、BPOのホームページをご参照ください。）

主な反省点としては、

- (1) 沖縄県における基地反対運動に携わる方は多岐にわたるにもかかわらず、平和的に基地反対運動を行う方々までも包括して過激で暴力的な運動を行っているかのような印象を与える部分など、視聴者に誤解を招く内容を含む部分について改稿の要請を行わなかった点
 - (2) 事実関係について一部に裏付けが不十分な箇所があり、番組の性格や種別に関係なく、放送局として、制作会社への再確認など、裏付けに向けた努力を尽くさなかった点
 - (3) 過激な反対運動と結び付ける形で、国籍や民族を明示してNPO団体共同代表の辛淑玉氏の名前を挙げるなど、人種や民族を取り扱う際の配慮を欠き、同氏に多大なる苦痛を与えた点
 - (4) 放送用のテロップ等が挿入されたいわゆる「完パケチェック」を、時事ネタを冷めないうちに放送するために組まれた放送までのスケジュールを優先し、省略した点
- 等が挙げられます。

当社は、既に公表の通り、考査体制を改め、テロップが入った「完パケ」考査の徹底を図るなどの確認方法・内容の見直しを行ったほか、組織・人員も強化しました。更に、全社員を対象に研修を行い、放送法、放送基準に対する理解を深めてきました。今後は、定期的に研修を行い、社員のスキルの維持・向上に努めてまいります。

当社としては、米軍基地反対運動であっても、違法行為を是認するものではありませんが、沖縄県民をはじめとする米軍基地反対運動に平和裏に参加する方々に上記のような誤解を生じさせたこと、及び人種や民族を取り扱う際に必要な配慮を欠き、辛淑玉氏の名誉を毀損し、多大な苦痛を与えたことに対し、心よりお詫びを申し上げます。

今後は、地上波テレビ放送局として、インターネット配信とは異なり、放送法、放送基準に準拠した視聴者の皆様に信頼される放送を行うべく努めてまいります。